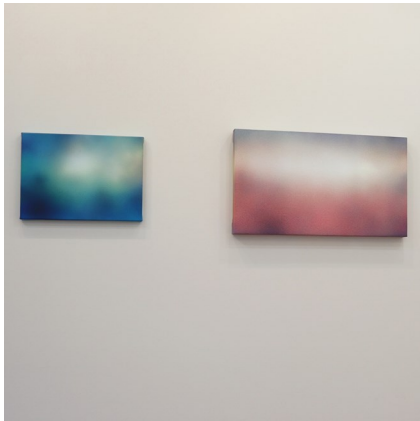


徳永 雅之 展

「粒子の向こうへ - Beyond the particles -」

2021.4.16 - 5.24 kaneko art gallery



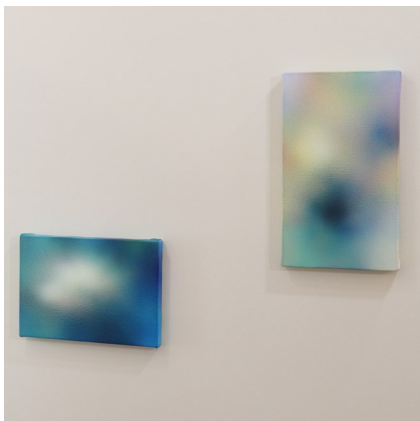
作家・徳永雅之に訊く

「いま見えてきたもの、そしてこれから」

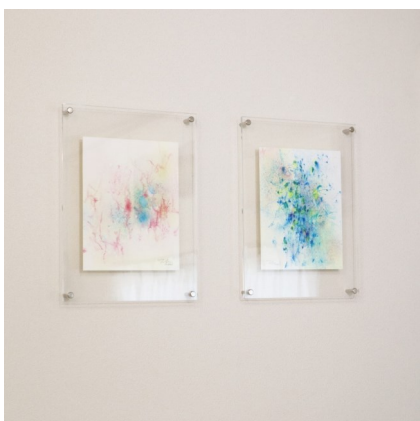
(聞き手より) 去年の「ぎやらりー由芽」(東京・三鷹)の個展では、これまでより淡い色彩を重ねた表現に舵を切ったように見えたが、それはどういう心境の変化だったのでしょうか。またその作業を経て、今回の制作では自身の中でさらなる変化などはあったのでしょうか。



— 私の作品に対するアプローチは常に少しずつ変化しています。個展というひとまとまりの結果を経て次の展開が生まれたり、アトリエで描いている作品が次の作品へのアプローチを呼んでくれることも多いのです。作品が次の作品を呼ぶと言ってもいいと思います。質問に書かれているような「舵を切る」というような意識は自分の中にはありませんが、最近はよりデリケートな光や空間に意識を向けて制作することが多いです。それには過去にも何度か試みたものの、納得の行く結果が得られなかったという経緯があります。それが現在のアプローチでどういう結果になるのかを見てみたいのです。



(聞き手より) 去年のセレクション展で、1999年制作の「yellow #3」を展示させていただきました。その頃と比較してあるいはそれ以降の作品の変化を追ってみると、次第に“形”が画面のなかに溶けつつあるという経過にも見えます。今後はどういう展開を辿ると感じられますか？ 例えば今までの歩みとは逆にまた”形”が画面の中にあらわれてくる、といったようなことはありうるのでしょうか。



— 「溶けるような、溶けていく」などの表現は、私が最近の自分の作品について使っている言葉ですが、それは単に画面上に現れる形だけでなく、空間との関係そのものが溶け、より曖昧になっていくようなニュアンスを含みます。この質問では“形”について「現れる」「溶ける」という言葉に繋がっています。それは画面の中の核になるような形が積極的なものであるか、そうでないかという捉え方が出来ると思います。

(次ページへ)

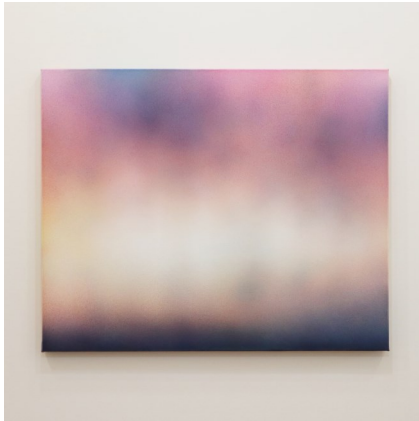
(前ページより)

— そういう意味では現在の私の作品の中に現れる“形“はかなり消極的です。そこにあった形が消えてゆくか、反対に無から現れ、まだ形になっていないようなものと捉えることも可能ですし、曖昧で定まっていない形態がただ描かれていると捉えることも出来ます。「yellow #3」は構図の中心となっているものに積極的に陰影表現がされていました。それが具体的なものでも象徴的な意味を持たせるようなものでもないことは現在も変わらないのですが、積極的な陰影表現は、その形態に対しても積極的で強いイメージを与えることとなります。それは現在の私が自分の作品に求める欲求とは異なりますが、将来的にその反動でまた強い表現に変化していくことはあるかもしれません。

(聞き手より) なかなか答えるのに苦労する質問もあったかと思いますが、お答えいただきありがとうございます。私なりに今回の個展での徳永さんの作品群がもつ良い意味での緊張感がどこから来ているのか、少し分かったような気がいたしました。

もしかしたら徳永さんにとって意味の深い転換期にある作品群なのかという気もします。会期中この作品たちと向き合っていくことが楽しみです。引き続きよろしく願いいたします。

(2021年4月 取材・構成：kaneko art gallery 金子太郎)

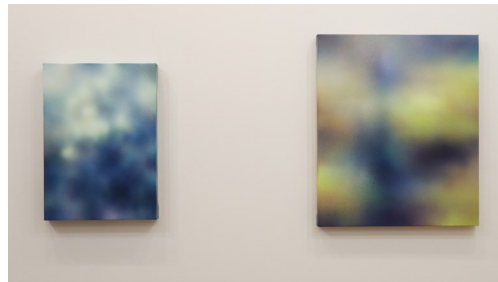


徳永雅之「Untitled」(21BP-02)
アクリル、エアープラス
水性アルキド樹脂絵の具、キャンパス
65.2 × 80.3 cm

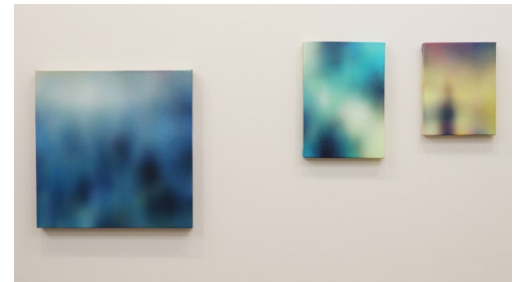
現在展示中の2021年制作の作品
下の作品とほぼ同サイズだが
制作の深化が、陰影などの共通性を
残しながらもより自在な“形”を
目指しているようにも映る



徳永雅之「yellow #3」(1999年)
アクリル、エアープラス、和紙、パネル
70.0 × 80.0 cm



2020年6月「オープニング展 - I」展示作品より
2018年制作の2作品



2020年7月「オープニング展 - II」展示作品より
左から2017年、2019年、2018年制作の3作品



徳永 雅之 (Masayuki Tokunaga)

長崎県佐世保市・出身。美大卒業後、1991年より発表を開始。
以後、継続的に個展開催・グループ展参加。

(Web関連ページ)

- ・2020年6月「オープニング展 - I」、7月「オープニング展 - II」
- ・2020年12月「2020冬 セレクション展」
- ・2021年1月～2月「セレクション・二人展(相澤秀人・徳永雅之)」
- ・徳永雅之 作品リスト (ペインティング・ドローイング)

kaneko art gallery のホームページに各リンクを掲載してあります。
(<http://kaneko-art-gallery.com>)

